



## Q. 豊山町の公共交通のあり方は

### A. 多様なライフスタイルに適合した 移動手段の確立を目指す

水野 晃 議員

**Q**

①高齢者や障害者の外出支援策、既存タクシーの活用、社会福祉協議会との連携、※デマンド運行と併せて、24年度の検討を問う。

②名古屋市バスとの連携について、新しい公共交通のあり方を問う。  
③今後とも、高齢者のバス運行のあり方、近隣市町との共同運行など公共交通に求められる課題は多い。小さな町の理想の公共交通について問う。

※デマンド運行とは、利用者が希望する乗降場所や時刻などの要求に応じて、乗り合い方式で運行する。過疎によって路線バスが廃止された後の交通手段とされるケースが多い。

**A**

①公共交通実態調査を行った。調査結果を詳細に分析し、公共交通施策に活かして行く。

②名古屋市を中心とした広域連携のあり方を考えていく中で、名古屋市の総務局や交通局と連携しながら、取り組んで行く。  
③民間航空機の生産・整備拠点立地に伴う需要増と多様なライフスタイルに適合した移動手段の確立を目指す。



デマンド交通のシステム